

第6回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録

結城市教育委員会

第6回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録（要旨）

- 日 時 令和3年12月8日（水曜日）午後3時から午後4時
- 場 所 結城市役所 大会議室1
- 出席委員 委員長 小島 睦 副委員長 瀧田 昌孝 委員 落合 由美子
委員 上田 哲弘 委員 齋藤 昌徳 委員 町田 裕行
委員 齋藤 紀子 委員 大木 作次 委員 佐藤 仁
- 教育委員会事務局
教育部長 飯田 和美 学校教育課長 大木 博
学校再編係長 和泉田 真 主幹 伊佐岡 真美

●次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 結城市学校適正配置等に関する提言書（案）について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・ 前回皆様のご理解ご協力を得ながら中間報告を決定することができました。教育委員会で中間報告の公表とあわせてアンケートを実施して、その結果を反映させた最終的な提言書案が提案されています。今回の議事としてはアンケートの結果及び提言書案について事務局から説明し、委員の皆様からご意見をいただき最終的に提言書案に修正を加えたもので完成を目指していきたいと思います。

3 議事

(1) 結城市学校適正配置等に関する提言書（案）について

【事務局説明】

- ・ 第1回目のアンケート調査は、本市が検討を進めていることの周知や適正配置に関する意見を聞くといった目的を持って各学校のまちコミメール、保育所、幼稚園、認定こども園については保護者の方に紙媒体で実施し意見をいただいた。アンケート調査結果の傾向として、2クラス以上、人数は1クラス当たり21人から30人ぐらいを希望する保護者の方が多かった。どういったことを学校に求めるかといった項目では一人一人にきめ細かい指導、多様な価値観、向上心、協調性を求めていることが傾向としてあった。共通するものとして、複数担任制や教科担任制といった学校の先生の数を増やして欲しいという要望が多くあった。
- ・ 中間報告における四ツ京地区の学区再編と絹川地区の学区再編について、最終的な提言書に反映させるためにアンケートを実施した。アンケート調査を実施したところ問い合わせ等が電話、窓口等でおよそ30件程度あった。問い合わせの内容はこの学区編成案をいつやるのか、これはもう決まったことなのかということであり、それに対しては提言書の案を踏まえて市の方針はこれから決定していく、そのために参考としたいと回答している。四ツ京地区の調査結果は、結城西小学校、結城中学校に通っている児童生徒がいる世帯ではどちらの案も反対で学区はそのままして欲しいという意見が多数であった。理由としては①途中編入をしてしまうことによる不安②結城小学校、結城東中学校に通学路を変更した場合、現状の通学路では大変不安③四ツ京地区全体ではなく、土地区画整理事業の進展により区画が新たに設定をされたときに地区ごとに変更を考えるべきということが挙げられた。結城小学校に通っている世帯では、現在学区外申請をしていることから「結城小学校に変更」という案に賛成する割合が高い。未就学児がいる世帯でもどちらの案も反対という割合が強いが希望制を望む意見があった。
- ・ 絹川地区の調査結果は、絹川小学校から結城東中学校に通っている児童生徒がいる世帯では「結城南中学校に変更」に反対する保護者の割合が高く学区はそのままして欲しいという意見が多数であった。理由としては自転車通学において結城東中学校の方が近いこと、南中学校までの通学路は部活で遅くなった時に道路が暗いという意見があった。未就学児がいる世帯では賛成反対、どちらでもいいを選んだ割合がほぼ同数となっており、友人関係が保たれる、小中一貫によって学力の面で期待できるので賛成するという

意見があった。また中学校においても自転車通学ではなくてスクールバスを検討してもらいたいといった要望もあった。

- ・提言書案については、「はじめに」として中段から後半のところに「小規模校の解消や学校間の児童生徒数の平準化のための『学校規模の適正化』や小学校と中学校がさらに連携を深めるための『小中一貫教育の推進』をテーマとして」検討してきたという、本検討委員会の役割について述べた。
- ・「1委員会としての提言」は、ある程度予想できる範囲ということで「10年後の結城市立小・中学校のあり方」をテーマとして考えた。「提言」については「総論」と前回の中間報告の中身を踏まえた具体的な提言、かつ中間報告についてのアンケート調査を反映した「各論」で成っている。「総論」では適正規模については、小学校はクラス替えが可能な12から18学級、中学校は9から18学級が望ましい規模であるという表現にしている。適正配置については、学校の望ましい適正規模を安定的に維持できるようにするという内容で、統廃合ということも視野に入れて適正配置を進めるという内容になる。今後の検討内容として、通学の安全確保や通学時間の短縮を考慮したスクールバス等の導入、統廃合後の学校の利活用について付記した。
- ・「各論」の1番目は、結城南中学校区の適正規模化として結城南中学校区にある5つの小学校を統合し、結城南中学校との小中一貫教育に適した位置に新設校を設置するという内容になる。「新設校を設置する」という表現には、新しく学校を建てるだけでなく、既設の校舎等の利用も含めて今後検討されることとなる。中間報告では令和8年度開校が望ましいという表現であったが、提言書においてはできるだけ早期に開校できるよう準備を今から進めよという内容に変更している。検討図では結城南中学校区との小中一貫教育に適した位置としてイメージした位置図になり、小学校によっては国が示す通学距離4kmを大きく超える所もあることが分かるのでスクールバスの台数や料金の徴収の可否など今後大きな課題として検討されなければならない。
- ・2番目は、結城中学校区の適正規模化として城南小学校、城西小学校を、校地を城南小学校として統合するという内容になる。保護者が一番心配しているいつやるのかということに対する回答と、地元にとって機運を高めるということを目的に、時期は令和10年度以降を目安にすると記述している。令和9年度までは、統合した場合の学校規模が大規模校になってしまうので、これ以降の児童生徒数の推移を勘案しながら、その統合時期は地元で諮って決めていくという内容で提案する。付記事項として通学路の安全確保のためスクールバスの運行も検討することとしている。
- ・3番目は、四ツ京地区の小学校・中学校区の見直しについて具体的な地区を示さずに継続して検討するとしている。その見直し時期は、現在行われている土地区画整理事業の進展による新たな区画割りの決定や、県道の結城坂東線と結城野田線をつなぐ都市計画道路の整備計画があるのでその進展をもって関係機関と協議していくこととしている。
- ・4番目は、絹川地区の中学校区の見直しとして結城東中学校から結城南中学校に変更する案であり、継続して検討するとしている。この地区は以前に結城南中学校から結城東中学校へ一度変更しているといった経緯があり、保護者・児童生徒の思いがあることから現状維持とする。ただし書きにおいて学区外申請をした場合の柔軟な対応を認めるべきとしている。

【意見】

- ・提案に対する反対運動が活発になると白紙に戻るといったことも有り得るのか。案が通るような時期を見極めることと、十分な説明と時間が必要である。
- ・アンケートをすることで意見が言える場があることは重要である。今後丁寧に地元の方と話し合っ、地元の意向を大切にしていける表現になっていることはありがたいと思う。
- ・結城南中学校区と結城東中学校区の学区再編について、反対なので署名運動したいと言う意見があった。中間報告が出たことで、保護者の方はもう決まったことで、来年から実施すると受け止めた方が多かったと思われる。こういう案が出ていて、これから検討して決めていくことということ、学区外の変更申請に対して柔軟な対応がなされるということが分かれば反対運動には至らないのではないかなと思う。
- ・今回の提言書によって一番メリットがあるのは結城南中学区だと思うので、順序的に進めていって、結城南中学区、結城東中学区も状況を勘案しながら考えていくべきだと思う。
- ・アンケートの調査方法で、学区変更をしないという選択肢が無かったことで、学区変更することありきであると受け取ったので反対運動が起きそうになったのではないかな。
- ・通学区域の指定というものが、以前より強制力が無いと感じる。
- ・アンケート結果から意見をよく吸い上げられていて提言書の内容に反映していると思う。総論は賛成で各論は反対というアンケート結果ではあるが、最終的な提言書としてはこれで進めていき、今後は時間をかけて諸問題を解決しながら、なるべく複式学級にならないように令和7年までに何か手を打ってほしいと思う。
- ・総論は賛成だが各論のデメリットが心配だという保護者に対しては、時間をかけて説明していく必要がある。働く保護者が増えていることから、通学の面が心配だという意見も多いのでスクールバスについても理解を得られるように責任をもって説明すれば反対運動は起きないと思う。
- ・結城南中学校区の一部では、地区で児童生徒が3人しかいないといった現状もあり、いずれ統合する可能性も感じているという意見もあるため結城南中学校区は理解が得られやすいと思う。
- ・可視化が大切だという考えで、アンケートを実施し意見を反映させて提言していくという丁寧なやり方でやってきたと思う。

(2) 今後のスケジュールについて

【事務局説明】

- ・1月に委員長から教育長に対して最終的な提言書の提出をお願いしたい。提言書の提出を受け3月に市の方針決定、公表を予定している。市の方針が決まり次第、3月の検討委員会で委員の方に向けて説明をさせていただきたい。

4 その他

- ・今後は、関係するところにも配慮していただきたい。
- ・学童保育についても検討いただきたい。

5 閉会